

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:7 事業名:富士の国やまなし観光振興施設整備補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	<p>(トイレへの補助について)既存のトイレを更新することを想定していて、新設については考えていなかった。</p> <p>政策誘導していくのであれば、どれくらいの数の更新が必要なのか、成果指標についてもその進捗率で達成状況を見ていくもの思っていたが、認識が違った。</p> <p>補助先の地域観光振興協議会とはどのようなものか。</p>	課長 小田切三男	<p>複数の市町村等で構成した団体である。</p>
諸平アドバイザー	<p>(トイレの管理について)県が設置したトイレで民間に維持管理を委託しているケースはあるのか。</p> <p>県が設置したトイレ93件のうち65件が県の管理から離れているが、どういう形態の管理になるのか。</p>		<p>県が設置したトイレは地元の市町村に管理をお願いしていることが多い。</p> <p>県が管理をお願いしているトイレの数は市町村が維持管理している数の中に入っている。市町村が設置したトイレの中には民間への指定管理もある。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
諸平アドバイザー	<p>お金はどこから出ているのか。</p> <p>(県から委託されたトイレについて)市から民間への再委託はあるのか。</p> <p>(重点化対象施設について)登山の安全対策を重点化するということが、北杜市の登山道が北杜市の申請件数が多いという理由だけで切られてしまうのは、重点化対象施設なのに外してしまうことについてどのように考えているのか。</p>	課長 小田切三男	<p>県から民間へ維持管理を委託しているケースはない。市町村は指定管理者に維持管理費を出している。</p> <p>清掃業務などの委託はあると思うが管理の再委託は無い。</p> <p>(登山道の整備は)28年度の重点化対象施設ではない。今後、重点化した時は、申請件数の多寡だけで不採択にはしない。</p>
小口アドバイザー	<p>29年度の重点化対象施設は引き続きトイレが中心になっていくのか。</p> <p>29年度はそれに登山道の安全対策も対象になるということでのいいのか。</p> <p>行政の順番からすれば快適よりも安全だと思うが、この事業の目的が観光施設ということでそうなるのかと思う。</p> <p>トイレのアンケートは定期的に行っているのか。</p>		<p>28年度と同じ対象で重点化施設としている。</p> <p>その予定で考えていきたい。</p> <p>平成20年、平成27年に実施した。定期的ではない。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<p>新設のトイレが重点化対象施設の主体になっているのであれば、成果指標として現在の観光施設の充実度や標識の充実度では直接反映出来ないのではないか。もし、観光資源課でトイレの調査をしているのであれば、このアンケートの結果の快適さを追いかけていけばかなり近いものが出る。今の指標を成果に直接結びつけるのは無理がある。</p> <p>補助額は他県と比べてどうなのか。</p> <p>補助率はだいたい1/2か。</p> <p>予算に限度がある中で、新設トイレの整備はわかるが、同時に相当利用があるトイレの中で快適性に問題があるトイレがかなりあるんじゃないか。そういうものが申請された場合、優先順位はどうなるのか。全面リニューアルは補助対象としていないのか。</p>	課長 小田切三男	<p>(他県の状況は)補助枠の上限が500万のところ3カ所、1000万円のところ1カ所など。東京都はもっと高い。</p> <p>1/4から1/2程度、1/2が多い。</p> <p>補助対象としている。老朽化したトイレのリニューアルについても新設のトイレと差はつけずに必要性で判断する。重点事業であるので優先的に採択している。</p>

アドバイザー	質 問 内 容	説明者職・氏名	回 答 内 容
小口アドバイザー	<p>新設のものを中心に考えている印象があるが。</p> <p>世界文化遺産の景観づくり関係で、富士北麓地域の景観形成の基準のチェックはしているのか。</p>	課長 小田切三男	<p>新設、リニューアルは市町村の判断になるが新設の申請が多くなっている。</p> <p>チェックはしていない。富士北麓地域では景観に特別の配慮をしていることは承知しているので、今後は(ヒアリングなどで)事前チェックしなければいけないとは思っている。</p>

内容が変わらない範囲内で要約して構いません。また、「です・ます」調ではなく、「である」調で記載してください。